

## 「蕨の会」、松代散策余話

4月10日、「蕨の会」17回目の散策は信州松代でした。

その時のレポートは65期HPに掲載されています。（4月14日付）

今月（5月）に入って、同期で坂城在住の塚田修君から9組のクラス会の様子についてHP投稿がありました。（5月10日付）

9組のクラス会は4月6日、9名で松代の各地を訪ねたとあり、4日遅かったら、「蕨の会」メンバーと同地で遭遇していたかもしれません。

世の中、広いようで、結構狭いものです。

今回の「蕨の会」に参加したのは成澤文和会長（4組）以下、総勢14名の爺さんたちです。

いずれも歴史上の人物や郷土史に興味をもつ面々が揃いました。

松代では事前に予約した地元のボランティアガイドさん2名に案内してもらいました。

我々より少し若いくらいの男性のガイドさんは、象山記念館から真田宝物館まで3時間ほど熱心に説明してくれました。ただ、ところどころで曖昧な話には容赦ない質問が浴びせられました。例えば、佐久間象山が京都で暗殺されたという説明では、「暗殺者はどこの藩士か？」という質問に対してガイドさんは「たしか、九州の藩と聞いています」との返事でした。それを聞いていたA君は早速スマホを検索して「暗殺したのは肥後藩士とのことです」と報告をして、ガイドさんからは「有難うございます」とお礼がありました。

松代最後の見学場所、真田宝物館では松代真田氏の系図を見ていたS君が「松代藩主10代というが、系図には11人載っているのはなぜか？」と質問。これは想定内だったようで、ガイドさんも困らず受け答えしていました。

そうこうしているうちに、「蕨の会」が埼玉の老人会ではなく上田高校OBの集まりだということを知ることになり、「それだったら最初から言ってくれば・・・」と怨みの言葉が。

ガイドさんにとっては、口うるさい「蕨の会」はあまり有難くない団体だったと見えて、ちょっと悪いことをした気持ちになりました。

それはともかく、今回の松代、真田巡りの隊長（幹事）を務めてくれた成澤君には、事前準備も含めすっかりお世話になり、参加者一同感謝、感謝でした。

ご本人が後で言うには、無事ツアーが終った時にはほっとして、顔が強張っていたとのこと。そこで、お互いに住処が近い成澤君と同級の浅倉英樹君（4組）と筆者（上原）が相談して、成澤君の労をねぎらう趣旨で、三人での昼食会の運びとなりました。

5月22日、場所はグルメで知られる浅倉君推奨、北浦和の日本料理の老舗「二木屋」です。当日はゆったりとした個室で、美味しい料理とお酒を楽しみながら懇談することができました。（次ページに 写真2葉）



写真1：松代小学校校庭に建つ象山像



写真2：「二木屋」の庭園にて、右から成澤、浅倉、上原

(2024年5月23日記)

以上